

9月11日

○議長（湯之原一郎君） これから本日の会議を開きます。
(午前9時00分開議)

○議長（湯之原一郎君） 本日の日程は、配付しています議事日程のとおりであります。

○議長（湯之原一郎君） 日程第1、一般質問を続けます。
9番、犬伏浩幸議員の発言を許します。

○9番（犬伏浩幸君） 登壇

皆様、おはようございます。傍聴席の皆様、早朝よりおいでいただきましてまことにありがとうございます。議席番号9番、犬伏浩幸でございます。9月議会最後の一般質問者であります。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、通告に従いまして順次質問いたします。

質問事項1、（仮称）イオンタウン始良開業へ向けての対策について。

要旨、来春（仮称）イオンタウン始良が開業する予定である。帖佐駅を利用される方々がふえると予想されます。帖佐駅駅舎整備、また帖佐駅から市役所周辺、（仮称）イオンタウン始良に至るまでの環境整備、活性化について、その対策を伺います。

質問事項2、観光振興、地域活性化について。

本市には、重富海岸の干潟、加治木港、なぎさ公園など、魅力あふれる海と施設がございます。これらを活用した観光振興策や地域活性化策をお示してください。また、今後の計画をお伺いいたします。

質問事項3、生活インフラ整備について。

市民の皆様から要望の多い道路や側溝などの改修、整備について、要望等が提出されてから整備完了までのプロセスを具体的にお示してください。

以上でございます。

○市長（笹山義弘君） 登壇

犬伏議員のご質問にお答えいたします。

1問目の（仮称）イオンタウン始良開業へ向けての対策についてのご質問にお答えいたします。

（仮称）イオンタウン始良の開業に際し、交流人口の増加が見込まれておりますが、それに合わせてJRの利用者もふえることが予想されます。新たな交流をイオンタウン周辺にどのように誘導するか、その仕組みづくりが求められております。

帖佐駅から市役所周辺、イオンタウンに至るまでの環境整備につきましては、都市計画マスタープランにおける土地利用の枠組みで、この地域を商業業務機能の立地誘導と適正な基盤整備を図ると位置づけております。今後、第1次総合計画後期基本計画で予定されている立地適正化計画の策定において検討していきたいと考えております。

また、地域の活性化につきましては、現在のところ創業を希望する事業者による市商店街空き店舗活用事業補助金制度を積極的に活用していただくことにより、空き店舗の解消と周辺のにぎわい創出

が図られ、将来的には立地適正化計画に基づく事業展開が図られることにより、活性化につながるものと考えております。

イオンタウンの計画では、本市が鹿児島市、宮崎の中間地で、県央に位置する地理的利便性を生かして半径20km以内の基本商圈は23万人を見込み、2期工事では専門店のほか映画館も入る予定で、戦略的には47万人の商圈を見込んでおられます。

想定される交流人口の増加に対応する環境整備としまして、駅舎やその周辺整備、アクセス道路の整備、巡回バスの運行等の整備を進めることにより、都市機能の充実が図られ、好循環が生まれていくものと期待しているところであります。

次に、2問目の観光振興、地域活性化についてのご質問にお答えいたします。

重富海岸の干潟は、日本で唯一と言われる生態系がここにあり、本年4月に開館したなぎさミュージアムで自然環境についての情報提供や、自然へのふれあいが身近にできるようになりました。市観光協会主催で秋に開催されます錦江湾あいらびまつりでは、子どもたちを対象とした車エビのつかみ取りなどが催され、NPO法人くすの木自然館などと連携したイベントで参加者に海の魅力を発信するよい機会になっております。

重富漁港では、地元の漁業者が自主的に新鮮な魚介類を直販する夕市が毎週日曜日に開催され、隣接するなぎさ公園は潮風に触れながら海に親しむ海浜公園として、多くの家族連れなどに利用されております。

加治木港は商業港として物流の拠点ではありますが、漁船やプレジャーボートの船着き場としての利用度も高く、ここを発着点として錦海漁業協同組合が主催する錦江湾キス釣り大会は年々参加者がふえております。また、なぎさ公園や加治木港は夏祭り会場にもなっており、錦江湾を望みながらの花火大会は賑やかな行事であります。

このほかにも、錦江湾奥の鹿児島市、霧島市、垂水市と連携して、錦江湾の魅力を伝えるための錦江湾・桜島フォトコンテストを開催し、入賞作品の巡回展示などに取り組んでいるところであります。

このように、現在もいろいろな催しやイベントを通じて、海の魅力を伝える取り組みが実施されております。夏と秋には、錦江湾クリーンアップ作戦が多くの方の参加のもと開催され、地域全体で海を育む取り組みもあります。本市は、錦江湾奥部ならではの美しい桜島の眺めや、海岸線を初めとする国立公園の自然が楽しめる環境にあり、湾内ということでマリンスポーツにも適していると言われております。既に民間団体によるシーカヤックの体験活動が開催されたり、錦江湾の海辺をめぐるシーカヤックの大会も計画されているようであります。シーカヤック、カヌー、ヨット、ボードセーリングといった海洋レクリエーションについては、今後、普及拡大する可能性がありますので、その状況を見ながら関係団体と連携してイベントなどの構築を図っていきたいと考えております。地域全体で知恵を出し合い、地域にある資源を再確認しながら協働で取り組むことが新たな観光振興と地域の活性化につながるものと考えております。

次に、3問目の生活インフラ整備についてのご質問にお答えいたします。

道路の舗装、排水施設工事、改良工事など、平成22年度から現在までに相当数の要望書が市民の方から寄せられており、また、窓口、電話などにより、要望も多数いただいているところであります。内容につきましては、路面、側溝の補修など修繕的なものや、道路改良、河川改修、排水改良など多額の事業費を必要とするものがあります。市におきましては、通行の安全確保に関する修繕は早急に対応することとしております。また、多額の事業費を要するものについては、現地調査、利害関係者

の同意、緊急度、費用対効果などさまざまな観点を考慮し、着手順位を決めて実施計画に計上しているところであります。

完成までについては、事業内容によって異なりますが、例えば道路改良工事につきましては、概略・実施測量設計、県公安委員会など関係機関との協議、地元説明会、用地補償調査などの手続を経て、用地買収・補償の交渉、所有権移転登記、物件移転の完了などの事業用地の確保を行い、工事発注、完成検査を終了し、供用開始しております。

以上で、答弁を終わります。

○9番（犬伏浩幸君） それでは、順次再質問していきます。

まず、質問1のイオンタウン開業に向けての対応について、地域の活性化について再質問いたします。

空き店舗対策事業を活用して利害を喪失するということですが、帖佐駅から市役所周辺、そしてイオン周辺至るまで空き店舗の数を把握してらっしゃるのでしょうか。

○企画部次長兼商工観光課長（平田 満君） お答えいたします。

今、議員仰せの地域での空き店舗の状況でございますけれども、概算調べたところでございますが、ちょうど帖佐駅から国道10号のところの県道の下手山田帖佐線ですか、こちらのほうをちょっと調べましたら、大体54店舗ほどの店舗数の中に12店舗ほど空き店舗があるようでございます。率で22%ということでございます。今度はそれをちょうど、それを縦の線としますと、今度は横の線で鹿児島銀行前から県道を横断したあたりまでの店舗数、それと市役所前の通りで今度は下手山田帖佐線をちょっと横断したところの商店街のところまでが約50店舗ありまして、ここにつきましては、もう既に空き地というかほかの目的に使われているところもございまして、店舗としては50店舗のうち4店舗が空き店舗になっていると。この地域は言いますと市役所周辺で、市の中心部と言えは中心部の市街地なんですけれども、この地域においても相対では15%ほどの空き店舗があるようでございます。

○9番（犬伏浩幸君） 15%ほどの空き店舗があるということでご回答をいただきました。一見、外から見てみるとこの辺は華やかで商売もうまくいってと思われる方も多々いるかもしれませんが、実態はこのようなことでございます。ことしになって私が確認しただけでも廃業したところが4店舗ほどございました。また、新規で立ち上がったところも2店舗ほどございましたけれども、やはり長引く経済不況ということでなかなか地方に景気の好循環が回ってきていない状況でございます。そこで、来春イオンタウンがいよいよ開店するわけですが、小規模事業者にとってはとても怖い存在、黒船ぐらいの存在と思っている方々もいらっしゃいます。また、その裏ではイオンタウンができることによって、市外からのお客様、県外からのお客様、呼び込んでいただけるということで、それをチャンスと見なす経営者の方々もたくさんおられます。そういった中で、特に小規模事業者は経営基盤が脆弱ですので、いろいろな法的な補助金とか支援をいただきながら、歯を食いしばって頑張っている方もたくさんおられます。そして、ただいま空き店舗改装とにぎわいの創出ということもございましたが、またイオンタウン、活性化について、イオンタウン開業時に何かイベントとか、今計画されているのでしょうか。お示してください。

○企画部次長兼商工観光課長（平田 満君） お答えいたします。

具体的にはそのイベントの計画は今のところございませんけれども、商工会のほうでも今回のイオンタウン開業等についてやはり地元を支援する、あるいは小規模事業者を支援するという形で発達支援計画というものもちよっと組み立てをしていらっしゃるようでございますので、ぜひ、そこら辺はまた商工会のほうとも連携しながら組み立てをしていければ、検討していければというふうに考えております。

○9番（犬伏浩幸君） 商工会のほうと連携してイベントを開催するというところでございます。そのほかに民間の団体とか、イベントを計画しているところがあるようでございますが、そちらのご認識がございましたでしょうか。

○企画部次長兼商工観光課長（平田 満君） その点についてはちょっと認識しておりません。

○9番（犬伏浩幸君） 民間の団体さんがイオンさんと協議中というお話を聞きました。開業イベント、お祝いをしようということで今計画、イオンさんとお話し合いというか協議をしているということも聞かれました。また、そういう方々とも協働しながら、これをチャンスと見なして地域活性化のために取り組んでいければと思っております。

そして、この市役所周辺のにぎわいというか活性化なんですけれども、私は新庁舎建設というものにすごく注目しております。来年の春にイオン1期工事、その次の年に2期工事、そして後から出てきますが帖佐駅の駅舎の整備、そして新庁舎建設ということで、3本の矢じゃないですけども、この中心地、3つの核が一体となって盛り上げていけるんじゃないかなと思っておりますので、今後検討委員会とかでいろいろ協議されると思いますけれども、その点も含めて協議のほうをお願いしたいと思います。

それでは、環境整備についてお尋ねいたします。先ほど申し上げました帖佐駅の駅舎についてでございます。同僚議員も一般質問等で何回も問うてるわけですけども、駅舎のバリアフリー化とか、駅の南側の整備とかいうのが早急な対策が求められていると思いますが、このことについてJ Rと協議をしていると思いますが、その状況をお知らせください。

○市長（笹山義弘君） 駅舎問題は以前からお話しておりますように、始良市には5つの駅があるわけでありまして、位置づける的にはJ Rにお話してますのは、始良市における中央駅というのは帖佐駅に位置するだろうということはお話しております。ただ、具体駅舎整備となりますと、駅前整備計画とかいろいろ複合的に事業を入れないとできないということで、今のところ具体の帖佐建設に向けての話が進んでいるということにはまだなっていないところであります。

○9番（犬伏浩幸君） それでは、庁舎自体ではなくバリアフリー化という点についてはいかがでしょうか。

○市長（笹山義弘君） 駅舎のことを申し上げますと、理想は日向市とか、今回は伊集院駅、日置市ですけど、上空駅舎といいますか、これが一番いいと思います。そのためには、しかし帖佐駅は別府川

の河川から、鉄橋から距離がちょっと厳しいのかなど。予算のことを考えなければその方法が一番いいとは私は感じております。そうしますと、帖佐駅前と松原地区の動線が平面でつながってまいりますので、非常にいいとは思いますが、ただそれにはかなりの改修費があると。それが難しいとすれば、駅前広場を含めて整備をすることで、機能的には始良駅のロータリーができて非常に安全性が高まったわけですが、あのような形で駅前整備をする中で駐輪場、駐車場の問題とかそういうのも手当てしていくということになってくると思いますが、要はそういういろいろなことについて協議が始まっているわけじゃないわけですので、それらはいろいろ構想的に今後立てながら、予算のことを含めてどう企画できるかということとはJRとも含めて協議していくということになってこようと思います。

○9番（犬伏浩幸君） 昨年の9月議会で同僚議員の質問にご回答がしているのが、バリアフリー化は平成32年を目途にということもございましたが、今市長が言われたこと、いろいろ鑑みて平成32年というのはなかなか難しい、それとも32年を目途に進めていくという、どちらでしょうか。

○企画部長（川原卓郎君） お答えいたします。

駅のバリアフリー化につきましては、1日の利用者数が3,000人以上のところということで、現在は加治木駅が5駅のうち対象となっておりますので、まずは加治木駅のほうをバリアフリー、エレベーター化ですか、加治木駅のほうを30年にはというふうに考えているところでございます。

○9番（犬伏浩幸君） 加治木駅のバリアフリー化、平成30年ということでございます。帖佐駅は一日に今のところ多分3,000人いないと思いますけれども、乗降者数がです。これがまたイオン開業によってふえることが予想されます。そして、帖佐駅の乗降者数が3,000人以上となったときには、この事業がスピード感を持って進められるのかどうか、それをお答えください。

○企画部長（川原卓郎君） お答えいたします。

今、議員申されました帖佐駅につきましては、イオンの開業ということで相当数の人の流れというのが予想されます。このエレベーター化といいますか、これにつきましては費用負担のほうに伴いますので、今、国、JR、市町村になるんですが、その市町村分につきまして県のほうにも幾らか手当てをしていただけないかというようなことでお願いもしているところですが、そういったことでそういったお願いをしながら進めるというか、検討していきたいというふうに思います。

○9番（犬伏浩幸君） ぜひ、ここはイオンに来るお客様、また違う観光に来るお客様の玄関口でございますので、おもてなしというかそういうのも含めまして皆さんが使いやすいような駅舎にしていくことをご提案しまして次の話題に入っていきます。

ご答弁の中にアクセス道路の整備を進めますとご答弁をいただきました。昨日、先日の同僚議員の一般質問でも市道の整備進めてまいりますということでご回答いただいております。ただ、やはり市民の皆様、またイオンの周辺にお住まいの皆様、交通渋滞というのを大変懸念されております。朝出勤して帰ってきたときに、家はすぐそこに見えるんだけど20分も30分かかるんじゃないかとか、病気になって救急車呼んだ方がいいが交通渋滞でなかなか来ないんじゃないかとか、そういう不安を言われる方もたくさんおられます。やはりこの道路整備というのはすごく大切なものだと思っております。

す。そこでボックスカルバートのことなんですけれども、またこちらのことをちょっと聞いてまいりたいと思います。20億円かかるというお話をいただきました。この20億円かかる工事の内容というのを教えてください。

○建設部長（岩穴口弘行君） 今、議員仰せの森船津線のボックスカルバート、一番懸念しているのが、歩行者が大変危険な状態であるということで、まず最初に考えているのが、歩道用のボックスを先にできないかというふうなことを考えております。これが、高速道路は盛り土をしてつくった道路でございますので、ある程度その盛り土を固めるというふうな施工をいたしまして、その中を堀削して暗渠、暗渠といいますか、歩行者用のボックスカルバートを設置する、大体これが概算ですけれども8億ぐらいかかるのではないかと。それが終わった後に車道用のボックスと、今度はもう1か所片側のほうの歩行者用のボックスを一緒につくるということになるんですけれども、これは車道それぞれ一車線ずつと、それから右折車線というのが必要になりますので、かなり大きなボックスになるんですけれども、これも土を一回固めてそれから掘るというふうな形になるんです。当然、これは高速道路の車をとめるということではできないのでそういうふうな施工になるんですけれども、これが大体12億以上というふうなことで考えておまして、これに今度は仮設とか出てきますとまたそれなりの、かなりの費用がかかってくるのではないかというふうな予想はしております。

以上でございます。

○9番（犬伏浩幸君） それで今後検討していくということであろうかと思っておりますけれども、検討をずっと続けていってもなかなかできないということで、今の工法というかやり方以外に何かもっと安くなる方法とか、違ったやり方というのはございませんでしょうか。

○建設部長（岩穴口弘行君） 設計をしてみないとわからないんですけれども、ほかの方法といいますか、今の高速道路ののり面に仮に橋を両側上り線、下り線それぞれ迂回路みたいな形でつくって、高速道路を全部堀削をして橋をかけるというふうな方法もございますけれども、それもどのぐらいかかるかちょっとまだ概略といいますか、そういう積算のほうもやっておりますので、先ほど申しましたボックスカルバートとこれからは比較というふうなこともやっていかないといけないというふうには思っております。

○9番（犬伏浩幸君） 上もあれば下もあるのかなと思ったりもしますし、20億円かかるということで、経済損失とか安全面を考えると早急に対策してほしいなと思っておるわけですが、ボックスと交わる市道、こちらのほうも整備されていくということですが、こちら右折ラインを計画しておりますでしょうか。

○建設部長（岩穴口弘行君） ボックスカルバートは当然右折の車線はできないんですけれども、今工事を行っております森船津線には右折の車線は当然設置いたします。

○9番（犬伏浩幸君） これは国の助成金というか補助金というのは何か使えるものがあると思うんですけれども、それをしたら20億からもっと安くなるんじゃないかなと思っておるんですが、その辺の

ところご説明いただければと思います。

○建設部長（岩穴口弘行君） 今、私どもで、道路改良で国から交付金というような形でお金と申しますか、交付していただいてやっている事業が社会資本整備総合交付金事業というのがございまして、これは当然道路の新設改良、それから橋梁の長寿命化、それと舗装補修、街路の工事、いろんな事業やっています。トイレの水洗化のほうもそちらのほうの事業でやったんですけども、その事業の中に今このボックスカルバートの改良というのができるか、今年の5月に先日もお話したんですけども、5月に鹿児島島の鹿児島島国道工事事務所の所長、あるいは小里環境副大臣来ていただいたときに現場のほうも見ていただいたんですけども、なかなかいい知恵が出てこなかったというのが現実でございまして、これからまた国交省なりいろんなところに行ってそういう要望と申しますか、お知恵を拝借できればというふうには思っているところです。

○9番（犬伏浩幸君） それでは、基金は使えないのかなと思っておりますが、そちらに繰入れるという基金がございませうでしょうか。

○総務部長（脇田満穂君） お答えいたします。

基金、今社会資本等の事業につきましては、まず補助金、それからあと基金、補助金、それから交付金を充てていただきまして、その残額が市の持ち出しということになります。その持ち出しの中で、それが一般財源なんです、起債ができれば起債、一番充当率の高い起債を充て、その残りがキャッシュと申しますか、現金部分、そこに基金を充てたりとかということは考えられます。ただ、市の300億近い事業をする中で、今お話である環境のそういう街路、そういうものを含めての事業となりますと、大体年間30億とか、やはりそういう総枠という枠がございまして、その枠の中で基金、それからあと一般財源を充てると申しますと、またほかの事業等の兼ね合いもございまして、長期的な視野に立った財源の充て方ということになるかと思っております。ただ、基金自身はあるわけです。ただそれをその事業だけに充てていいかという議論を、やはり長期的に計画を立ててる中で財源でございまして、そういうことを念頭において、充てるとなれば考えていかなきゃならないと考えます。

以上でございます。

○9番（犬伏浩幸君） 交付金、そして起債、あと一般財源、基金等々を含めていろんなお知恵を皆様で出し合って、私どもも出し合って、ぜひ、ここのボックスカルバート解決に向けて協力してやっていければと思っております。来年の春にはもう、いよいよイオンが開業でございまして、本当、市民の皆様はすごく期待もされ、楽しみにされております。その裏では交通渋滞ということも懸念されておりますので、ぜひそのことを、対応を十分とっていただいて、来年の春迎えていただければと思っております。

それでは、次に観光振興と地域活性化について質問させていただきます。写真をお願いいたします。すみません、一回消してください。すみません、失礼しました。お願いします。海の活用、そして港の活用ということで質問を出させております。これは始良市にある海、なぎさ公園あいらです。それと重富漁港の様子でございまして、なぎさ公園あいら、なぎさ公園の階段になったところでございまして、ここでは親子で水遊びをしたり、釣りをしたりしている方々もいらっしゃいます。こうなっており

ます。目の前には桜島、そして遊具、トイレ、またシャワー等もついております。日曜日、夏休みはたくさん子どもたちでにぎわっておるところでございます。対岸には重富海岸が見えます。そして大きな雄大な桜島です。ここはなぎさ公園のグラウンドですが、ここでボール遊びもされているんですが、日曜日、中学生のラグビー部の方々が練習をしているところでございます。いろんな活用がございます。重富漁港の漁船、また遊漁船でございます。そして、こちらは海開きです。皆様参加していただいた海開き、重富海岸でございます。なぎさミュージアムもでございます。西浦小学校の子どもたちが楽しそうに泳いでおりました。そして、これはもう少し行きますと松原漁港であります。夕日がとっても綺麗なところでもあります。ここは須崎です。須崎の先のほうといいですか、ところがございます。そして、きのう質問にでました黒崎、黒川岬に行く道が今こういう状態になってました。これが堤防堤みというんですか、ずっと行っていただいて青島神社、そしてこの先に、これが岬になります。そして対岸には加治木港がございます。ありがとうございました。このように、始良市にはたくさん海、魅力ある海、そして重富漁港、松原漁港、加治木港といい施設がたくさんあるわけがございます。そして、いろんなイベントが行われておるわけですが、ご答弁の中にマリンスポーツに適していると、そしてシーカヤック、カヌー、ヨット、ボートセーリングといった海洋レクリエーションについては今後普及拡大する可能性がありますと、イベントなど構築を図っていきたいとございますけれども、具体的にどういったイベントを構築していこうかなと思っているのでしょうか。

○企画部次長兼商工観光課長（平田 満君） お答えいたします。

今、議員仰せのいろいろなマリンスポーツでございますけれども、これにつきましては錦江湾みらい戦略という中で、錦江湾内がそういった非常に波が静かでこういったマリンスポーツに向いてるということで、いろいろ体験活動等が行われているところもございまして、本市におきましては、今答弁の中でもありましたようにシーカヤック等は具体的に楽しんでらっしゃる、あるいはイベントも計画してらっしゃる団体もございまして、こういったところを今後のイベントにつなげていきたいというふうに考えております。

○9番（犬伏浩幸君） 先ほど、須崎の写真をお見せいたしましたけれども、あそこではカイトボードというのをされてるんです。カイトボードです。（笑い声）はい、カイトボードされてます。インターネットで見ると、加治木のあそこは最高の場所だねということで多くの方々が集まっておられます。ぜひ、そのことを認識いただいて、カイトボードとのメッカというような形で取り組んでいければもっともっと、県外からも来られるそうです、もちろん始良市街からも来られるそうです。マリンスポーツ、カイトボードのメッカという形でも進めていければ地域の活性化になるんじゃないかと思っておりますので、ぜひご検討いただきたいと思っております。

それと、もう写真を出すのはちょっとあれなんで、重富漁港、なぎさ公園のところから錦江湾潮風街道というのがございます。県の事業なんですけれども、遊歩道を整備していこうという事業でございます。これが私ちょっと歩いてみましたけれども、重富漁港のあたりから300mぐらいですか、もうちょっとあるかな、400mぐらい、そこで終わりました。次は重富海水浴場のところから御門神社のところあたりまで整備されています。赤く舗装されておりますのですぐわかると思うんですが、この事業はいつごろ整備されたのか、またその経緯をお知らせください。

○企画部次長兼商工観光課長（平田 満君） お答えいたします。

今、議員仰せのいわゆるゴムチップのカラー舗装、遊歩道でございますけれども、平成22年度に県の魅力ある観光地づくり事業という事業で、なぎさ公園、それから今重富海岸のところを整備、大体延長で1,200m程度整備をされてるようでございます。

○9番（犬伏浩幸君） この事業は始良市から財政の支出というか、そういうのはあったんでしょうか。

○企画部長（川原卓郎君） お答えいたします。

この事業につきましては県の事業でありまして、市のほうからの支出はございません。
以上でございます。

○9番（犬伏浩幸君） 県の事業で市の支出は全くないということで、ぜひこれを進めていただきたいんです。先ほど写真をお見せしましたけれども、あれはずっと海岸沿いを撮っていったんです。何が言いたいかという、この遊歩道が一本につながればすごくいい観光名所、また健康づくりにもなるんじゃないかなという意味でずっと海岸沿いを撮らせていただきました。それで、ちょっと県のほうに電話してみました、確認をとって。この事業は今後どうなりますかということで。そうしますと、管理者の方々と私有地、また公共の土地、私の土地含めて管理者の方々の協議の上で随時進めていきますということで、多分始良市のほうも平成22年度以降検討されたのかされてないのかちょっとわからないんですけれども、平成22年に整備されてから以降の鹿児島県との協議というか、そういうのはなされてきたのでしょうか。

○企画部長（川原卓郎君） お答えいたします。

松原海岸、それから須崎海岸もあわせて散歩する方も非常に多いですので、そういったところをずっとつながられる整備ができたということで協議をさせていただいたんですが、車が入るということで今整備していただいたところだけにとどまっているところでございます。車を排除できればつくれるというようなことでありましたけれども、なかなかそれも難しいということで現在に至っているところです。

以上でございます。

○9番（犬伏浩幸君） それは車と歩行者との共存で道をつくるということではできないということですか、この事業は。

○企画部長（川原卓郎君） お答えいたします。

堤防も広いところがございますので、そういった形でもできないかということですが、管理道路になっておりまして、通常車が通るところでもないんですけれども、そのような事情で、車が完全にわけられればあれなんだろうが、車が舗装に乗ってしまうとだめになってしまうというようなことでございました。

以上でございます。

○9番（犬伏浩幸君） 確か須崎のところは車両が進入禁止になってたと思うんですけども、その確認をしたいと思うんですがいかがでしょうか。

○企画部長（川原卓郎君） お答えいたします。

仰せのとおり一般車両は禁止になっておりますけれども、バリケードとかそういった形で閉めてあればいいんですが、現状看板はありますが自由に通行している状況でございますので、その状況下では難しいということでございます。

以上です。

○9番（犬伏浩幸君） そうですね。結構通ってる方いらっしゃるんですけども、これはもう昔からの慣例というか、釣りに来たり、ゴルフの練習をしてみたり、カイトボードをしてみたりということで、車で来られる方々もいらっしゃるということでなかなか難しい面はあると思いますが、せっかくこのいい海岸線ずっとありますので、遊歩道整備はしなくても看板でもつけてここから、例えば重富海岸から松原の漁港まで行けますよとか、そこからサンピアの奥まで行けますよ、橋をわたれば須崎からずっと網掛川のほうまで行けますよというのをお散歩コースみたいなそういうのもいいかなと思っております。すごく景色のいいところですので、ぜひぜひそこのところをご検討いただきたいと思っております。そのことに関してはいかがでしょうか。

○企画部長（川原卓郎君） お答えいたします。

今ご提案をいただきましたけれども、そのような形で堤防、そういったところの管理者、また観光課のほうとも協議をして検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○9番（犬伏浩幸君） 海の資源ということで、魚とかその他いろいろ水産物があると思っておりますけれども、始良市で今水産物、加工物でもよろしいんですけども、今一番盛んに行われているものは何かお示してください。

○農林水産部長（海老原経記君） お答えします。

現在漁協関係でございますと、答弁にもございましたようにいわゆる重富漁港で夕市とかも開かれております。また、錦海漁港の取り組みの1つとしまして、いわゆるあさりの養殖に頑張っております。またヒトエグサ、これはヒトエグサと言いまして青ノリのことなんですけれども、そういった栽培にも一生懸命頑張っております。将来こういったものが流通できるようにということでいわゆる組合の方は努力をされていらっしゃるようです。

以上でございます。

○9番（犬伏浩幸君） 一部答弁が聞こえないところがございましたが、あさり……（発言する者あり）青ノリですね、青ノリは有名ですね、ご回答いただきましてありがとうございます。これらを加工して販売というところまで今現状いつているのかどうかお示してください。

○農林水産部長（海老原経記君） あさりにつきましては、今養殖と申しますか、試験的に養殖していきまして、計画でいきますと今度秋口ぐらいから1年、2年後に販売できる予定だったんですけども、ちょっといわゆるナルトビエイの被害と、あとチヌの被害がございました。それと今回の台風の影響でちょっと貝が一部埋まってしましまして、被害が出ております。それと、あと加工の中ではなまこで青なまこ、赤なまこ、これの加工をしたものを販売をしております。それも1つの市で取り組んでいる事業ではないかと思っております。

以上で終わります。

○9番（犬伏浩幸君） 意外と色々な水産物加工品があるということがわかりました。それで来年の3月に鹿児島マラソンがございます。重富のところでは折り返しというところで、そこでこの前も鹿児島市の職員と始良市の職員で打ち合わせもあったかとは思いますが、やはりおもてなしというところで沿道をつくって加治木まんじゅうだったり、キャロットジュースだったり、膨れ菓子だったりというのを給食として出すと思うんですけども、ぜひ海のほうの青ノリとか、あさりとか出していただいて、振興発展努めていただきたいと思っております。菜の花マラソンではカツオの腹皮が出ました。とてもおいしかったです。焼酎もいただきました、ちょっときつかったですけれども。始良市でもそういった形でおもてなしして観光振興に努めていただければと思っております。また、本当始良市、すごいすばらしい海と景色と、また水産物と持っておりますので、いま一度海のすばらしさというのを認識していただいて観光振興地域発展につなげていただければということをご提案いたします。

それでは、次に入ります。生活インフラ整備についてであります。市民の方々の一番身近で一番要望の多い生活インフラ、特に道路とか側溝、こういう要望がたくさん市役所のほうにも、私ども議員のほうにも来るわけですが、なかなかこれが先に進まない、なかなか整備できないという状況もございます。その裏には財政的な問題等々あるのは重々承知の上で今回質問させていただきました。やはり、市民の皆様は要望したらすぐやっていただきたいというのが本音であろうかとは思いますが、ちょっとしたことですぐ取り組んでいただければそれだけでも満足、市民満足度アップ、市民価値の向上ということにつながっていくかと思っておりますが、大体この要望から完了までいろいろ事業はあろうかと思っておりますが、どれぐらいの期間を要するか、1年、2年、3年、どうでしょうか。

○建設部長（岩穴口弘行君） ご要望いただきました中で、軽微な舗装のポットホールとか、側溝蓋板のたつきとかはすぐに改修しているところがございます。しかし、道路改良、道路拡幅とか側溝の入れ替えとかっていうのはなかなか、先ほども言うていただいたんですが、予算の関係でできないところもございます。私のほうといたしましては、5年を目途にというふうな形でやってるんですけども、なかなかそれが進められていないのが状況でございます。

○9番（犬伏浩幸君） ぜひ、いろんな工夫ができると思います。同時進行的にいろんなことをすれば少しは短縮できると思いますので、そのことを求めて私の質問を終わります。

○議長（湯之原一郎君） これで、犬伏浩幸議員の一般質問を終わります。

○議長（湯之原一郎君） 以上で、本日の議事日程は全部終了しました。

したがって、本日の会議はこれをもって**散会**とします。

なお、次の会議は9月14日午前10時から開きます。

(午前10時02分散会)